令和6年度 事 業 計 画							
戸	所 属・事 業 部	放課後等デイサービス事業所 ひとはぼっこ					
担	旦 当 責 任 者	鈴川容子	担当者	鈴川容子・大番有記・古谷徹・上田美香 橋川成子・出原昭宏・生中夏帆・竹田佐 代子			
	〈目標〉						
目標・	様々な人との関り(友達やスタッフ)のなかで、自分の思いや願いを形成し、他者に伝える大切さを知る。 活動を通して様々な経験を重ね、社会性を育む。 〈ねらい〉						
ねらい	・子どもの成長に応じて、思いや願いを伝えることや相手の話を聞くことの経験を重ね、人と関わる力を育んでいく。・活動や、社会資源、公共施設の利用を通してルールやマナーを身につける。						
活	(活動内容) 「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に関わる 5 領域を踏まえた設定活動、行事などを実施、開催する。 「健康・生活」 衛生面への配慮。利用時の検温や手洗い、感染症感染対策、健康チェックを行う。 日々の利用時に感染症感染対策に関わる検温や手洗い、全身的な健康チェックを行う。 衣服の調整や清潔の保持など基本的な生活習慣を身に着ける。						
動	「運動・感覚」 運動遊び、屋外での活動を通じて、身体作り、肌で季節を感じる活動を行う。						
内	「認知・行動」 活動や遊びを通して、できること、できないことや、ルール等を認識し行動につながるようにしていく。						
容	「言語・コミュニケーション」						
•	話し合いなどの活動を通して、相手の気持ちを聞いたり、自分の気持ちを伝えたりする経験をする。状況に応 じた言葉の用い方や表現方法などに触れていくことで、日常生活に役立てられるようにする。						
留	「人間関係・ 社会性」 遊びを通してルールを意識し、また順守することで、友達や他者との円滑な交流や関係性を育み、勝ち負けに						
意	こだわらず、感情の抑制や切り替えにつながるサポートをする。また、公共施設の利用を通して社会的マナー						
点	を学ぶ。 〈留意点〉 ・安全面・衛生面への配	7届を行う。					
	・健康状態・家庭での様・個別の支援計画書を付・ケース検討を行い共立・社会資源を活用し、そ	様子を把握するために 作成することで、本 通認識を持って支援に 社会のルールを身に	人・家族の思いを にあたる。 つける。				
年間	・長期休暇支援 夏季作 冬季作	木暇支援 7・8木暇支援 12・1					

計

そ

 \mathcal{O}

他

- 土曜日開所 親子活動
- 保護者会
- ・研修会の開催 (講演会等)、事業所研修
- ・個別面談(個別の支援計画、計画相談、モニタリング(もやいを含む)、その他必要に応じて随時行う)

1. 放課後の週活動予定

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
話し合い (月初め)	音楽教室	買い物(おやつ)	体力づくり	チャレンジタイム
制作		おやつ作り		(選択遊び)
		隔週行う。		

2. 学校休業日の活動予定

月曜日から金曜日までの 10 コマに、昼食づくり、おやつ作り、体力づくり、ミュージック・ケア、外部講師による活動、季節行事等を盛り込んで活動を設定する。

3. 一日の活動の流れ

放課後活動		学校休業日		
時間	内容	時間	内容	
15:00~16:25	通所	8:00~9::55	通所、宿題、自由遊び	
~16:50	宿題、自由遊び	~10:15	始まりの会	
16:50~17:15	活動、掃除	~10:30	ラジオ体操	
17:30~	帰所	10:30~11:30	午前の活動	
		11:30~13:30	昼食・自由遊び	
		13:30~14:45	午後の活動	
		14:45~18:00	終わりの会・自由遊び・帰所	

年間計画

月	行事	月	行事
4月	・音楽教室 ・春季休暇	10月	・音楽教室
5月	•音楽教室	11月	・音楽教室 ・児童部門合同行事
6月	・音楽教室	12月	・音楽教室 ・冬季休暇支援 (クリスマス会等)
7月	・音楽教室・夏季休暇・土曜日開所	1月	・音楽教室・冬季休暇・児童部門研修
8月	・夏季休暇支援 ・音楽教室	2月	・音楽教室 ・土曜日開所、親子行事(保護者会)
9月	・音楽教室・秋季休暇支援(広島北特別支援学校)・土曜日開所	3月	・音楽教室・春季休暇支援・進級・卒業を祝う会